

太郎山山行報告

【山行日】2019年 5月 26(日) 快晴
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00
【費 用】マイカー2台 : 1,700円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、石川、岩淵、
小松原、嶋田、島田、関、関口、五月女、松館
【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00＝山王峠
7:35/7:45～山王帽子山 8:40/8:50～ハガタテ薙分岐
9:40/9:50～小太郎山 10:40/10:50～太郎山
11:30/12:10～小太郎山 12:50/13:00～ハガタテ薙分岐
13:40～山王帽子山 14:30～山王峠 15:25/15:35＝栃木市運動公園 P17:25



久しぶりに太郎山へ登りたいとリクエストがあり、山王峠からピストンで登る計画を立てた。栃木市運動公園を6時に出発し、日光宇都宮道から国道120号線を進み戦場ヶ原から右折し光徳



方面に進む。光徳牧場手前駐車場のトイレに寄り、トイレを済ませて山王峠に向かう。

山王峠の駐車スペースに車を止め、ストレッチを済ませて太郎山登山口から登山道へ入る。ササの中の登山道を九十九折れに登って行き、高度が上がるにつれ展望が良くなる。今日は快晴の登山日和に恵まれ、振り返ると残雪の日光白根山や温泉ヶ岳、根名草山がクッキリと見え歓声上がる。コメツガ林の中の急登が続き、傾斜が緩くなると山王帽子山山頂に着く。

山頂はコメツガの中だが、北側からは日光連山や奥鬼怒方面の山々が展望できる。小休止し、冷たいパイナップルや菓子をいただき疲れた体を休める。山頂からは下りになり、暗いシラビソの樹

林帯を鞍部まで下る。鞍部から急坂を登り返しハガタテ薙分岐に出るが、ハガタテ沢直登コースは通行禁止になっており、標識の文字も読めなくなっていた。ここからは柵やシラビソの原生林の緩やかな登りが続くが、時折岩場や残雪が出て登りにくくなる。途中、林の中で休憩し、トマトやロールケーキを食べエネルギーを補給する。ここからもさらに急登が続くが、樹間から男体山が望め「エ～～男体山があんな姿なの？」といったもの見慣れた男体山と違うので戸惑っていた。ハガタテ薙分岐から50分頑張り、小太郎山山頂



に着いた。ここからの眺望は素晴らしく、日光連山はもちろんのこと燧ヶ岳や会津駒ヶ岳等尾瀬の山々が見渡せる。360度の大展望に皆感動し、絶景をカメラやスマホで撮りまくっていた。

これほどの好天に恵まれることは無く、皆さんに喜んでもらえ本当に良かったと神様に感謝した。小太郎山から太郎山までは、ガレ場のヤセ尾根を行き不慣れな人には手強い場所だ。慎重に通過



し、何とか乗り切って最後の太郎山への登りに取付く。途中、右下に円形の湿原が望め、旧火口のお花畑を眺めながら登って行く。南側の斜面にはヒメイチゲの可愛らしい花が咲き、疲れた体を癒してくれる。お花畑からの新薙ルートを合わせると、ほんのひと登りで太郎山山頂に出る。太郎山山頂には三等三角点と太郎山神社の石祠があり、展望は小太郎山と同様360度の大展望が得られる。男体山から女峰・赤薙山までの

日光連山や、日光白根山、温泉ヶ岳から会津の山々まで素晴らしい展望が広がっている。山頂の東側に陣取りランチタイムとし、豚汁を作って景色を楽しみながら昼食をいただいた。昼食が済んだら記念写真を撮り、荷物を片付けたら下山する。

下山は往路を戻り、小太郎山でもう一度大展望を楽しんで山王峠に向かう。小太郎山からの下りは岩場や残雪があり、計画よりかなり時間が掛かってしまう。登りは計画よりも20分早く登れたが、下りは山王帽子山までで20分オーバーし結局計画通りに山王峠に着いた。靴を履き替え、荷物を車に積んだら帰路につく。今朝寄った光徳のトイレに寄り、そこから光徳牧場に行きソフトクリームや牛乳をいただく。下山後のアイスクリームや牛乳は格別で、皆さん満足そうに食べたり飲んだりしていた。帰りの高速道路も順調に走り、東北道の西方PAに寄ったが予定通り栃木市運動公園に帰着した。

